

金山町 議会だより

第198号

平成29年8月8日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎ 0241-54-5341



会津若松建設事務所管内で、初めての只見川河川整備工事が、土倉地内で始まった起工式(7月6日)でのくわ入れの様子

〔6月定例会のあらまし 会期／6月9日～13日〕

	(ページ)
6月定例会 国民健康保険税、基金状況確認 ……………	2～3
臨時議会 周遊バス試験運行、議案等審議結果一覧 ……	4～5
一般質問に6人登壇 ……………	6～11



国保診療所まで、全ての町営バスが乗り入れることになった
日頃から、健康管理には気をつけたいものです

6月定例会

国民健康保険税

今後どうなる

6月定例会は、6月9日から13日にかけて開催され、金山町国民健康保険税条例の一部改正や一般会計補正予算など11議案と、報告3件、議員提出議案1件が提案され、原案の通り可決されました。一般質問には、6人が登壇し町政をただしました。

■国保税

議案審議

比べて389円の減になります。

**税額どうなる
世帯あたり
389円の減**

問 今回の改正で国保税額はどうか。

答 住民課長 全体の平均値で、28年度、一世帯当たりの金額が13万3051円。29年度の試算で13万2662円です。シミュレーション上は前年に

平成30年度の 国保広域化 統一保険料心配

問 平成30年度に資産割の廃止を目指すのか。

答 住民課長 平成30年度の広域化に伴って資産割をだんだん下げていき

ます。「県の広域化に伴う一本化に向けた考え方」というのが示されています。現在、市町村間において医療費水準、あるいは保険料（金山町の場合は保険税）水準に格差があります。保険料の算定方式にも差異が見られます。統合化（一本化）を目指すという考え方のもと、今現在、非常に格差や差異がある状況をいきなり統一するということになりますと、急変を招くということが想定さ

れるため、医療サービスの均質化や医療費適正化への取り組みを推進し、能力に応じた負担について考慮しながら、将来的には県統一保険料を目指すという事です。30年度にいきなり統一化を図るといふことではありません。各市町村の裁量に委ねられているという事で、ご理解いただきたいと思います。

一元化で 国保基金はどうなる 金山町に残る

問 一元化されるに当たって、町で持っている国保の基金はどのような扱いになるのか。県に移管されるのか、町で使用ができるのか。

答 住民課長 現在、町で持っている国保支払準備

基金の残高が約7500万円です。新たに経営が広域化（一元化）された場合においても、この基金はあくまでも金山町のもので、基金はそのまま残ります。広域化後の国保税の算定に当たって、被保険者の方々の負担が大きくなるように税率を定めていく方針を現在考えています。

その他の議案審議

基金増えると 交付税減らされる 対策考えないと

問 繰越金（28年度から）8638万9000円だが、町の基金残高は。

答 総務課長 28年度末時点での町全体の基金保有状況は29億9000万円ほどです。そのうち、財政調整基金の残額は、11億円ほどとなっています。

問 基金の関係ですが、29億ある、財政調整基金は11億、過去から比較すればか

なり増えています。これは金山町だけではありません。全国的に今基金が増えている。これを最近、皆さんご承知のとおり、国が埋蔵金だと勝手な言い方をし始めました。要するに、自治体の貯金に当たる基金の残高を理由に地方交付税を削減しようとしている動きがあります。このことについて町長はどのような認識を持っておられるか。

答 町長 企業であれば内部留保というようなこ

とだと思えます。「最近自治体も非常に財政調整基金が増えている」と。この前、総務省の佐藤事務次官と面談してきた際に、事務次官もそのことをおっしゃっていました。「これは地方にとつてかなり厳しい状態になりますよ」とも話しておられました。「平成31年のころから、地方交付税を少しずつ減額するというような動きが出てくることは間違いない」と言っておられましたので、我々もその辺は十分、予期しながら対策を立てていかなければならないと思えます。余り締めつけ

人事

◆人権擁護委員候補者

6月定例会で、人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

長谷川 美喜子（西谷・65歳）	星 俊子（中川・68歳）	滝沢 正明（上横田・64歳）
-----------------	--------------	----------------

◆金山町農業委員

6月定例会で、農業委員の選任に同意しました。

山口 德行（中川・68歳）	渡部 宏昭（大塩・62歳）	栗城 篤義（川口・67歳）	横田 敏宏（越川・66歳）	五十島文榮（沼沢・68歳）	中丸 謙公（大志・68歳）	谷ヶ城雄司（玉梨・68歳）	小林 和衛（本名・56歳）	渡部 真明（横田・67歳）	須佐 勉（山入・58歳）	栗城 元一（上横田・70歳）	諏江 隆（高倉・65歳）
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	--------------	----------------	--------------

◆産業建設常任委員会

4月6日付けで、正副委員長の異動がありました。

委員長 高橋 信彦	副委員長 黒川 廣志
-----------	------------

が厳しくなると、今度は逆にまた、貯めておかなければ大変なことになるといふような、風潮につながりかねない。いわゆる高齢者の社会保障がどんどん削られることによつて、貯金ではないかと、大変危惧しているところではあります。

5月26日 第2回臨時会

5月26日に開催された第2回臨時会では、金山町町営バスの施行の特例に関する条例の制定など3議案が提案され原案通り可決されました。

3月議会で本運行は無償と言っている

問 3月定例会時、当時の総務課長が、本運行の料金について、「基本的に無料」と答弁されている。ここの辺の關係についてはどうなんでしょうか。

答 総務課長 昨年度の「前総務課長の答弁で、本運行に關しても無償という話もありましたが、現在の段階では、無償で運行を行う」ということについては、県からの補助金等が一切入ってこないということになりますので、その点も含め、単独での運行はかなり難しいと考えています。無償にするに当たり、ある程度クリアしていかねばならない問題が多数あると現在では認識して

います。一概に来年から無償とは現段階では言えない状況です。

病院にいく朝早いバスなぜ出せない

問 この試験運行に際して、前回のときも質問しました。病院に行くのにとっても困ると、朝早いバスがないということ、質問しました。町民の意見を聞くと言いながら、既に出されている意見を全く無視したような形で、この試験運行が組まれている。病院に行くという、命にかかわる問題で切実な願いがあるのに、なぜそういうところを考えて、この試験運行に生かしていただけないのか。

答 総務課長 町営バスに1人乗るために朝6時から出すというのは現実的ではありません。皆さんの要望が全てかなえられるというものではありませんので、ある程度、経済的な効率も考えて運行の計画を立てたのが、今回の結果となっています。本運行に關しては、できる限りそういう声も生かしていきたいと考えていますが、バスも今のところ2台しかなく、その稼働時間についても、ある程度は制限があるので、皆様の要望を全てかなえられる状況ではないということをご理解ください。

何千万円もの予算を使っているお金を生かして

問 「病院に行くのは月に1回ぐらいしかないので、週に1回とか月に1回でもいいから早いバスを出して欲しい」という願いがあります。何千万も予算を使っているから、まるでどぶに捨てるようなことじゃなくて、お金を生かして使って欲しい。

から出すというのは現実的ではありません。皆さんの要望が全てかなえられるというものではありませんので、ある程度、経済的な効率も考えて運行の計画を立てたのが、今回の結果となっています。本運行に關しては、できる限りそういう声も生かしていきたいと考えていますが、バスも今のところ2台しかなく、その稼働時間についても、ある程度は制限があるので、皆様の要望を全てかなえられる状況ではないということをご理解ください。

来年度の運営はいつまでに決めるのか 12月までに決定

問 6月1日から施行されるわけですが、来年度をどのようにするか、最終的にいつごろまでに決断をされる予定なのか。

答 総務課長 最終的な判断ですが、有償運行、無償運行等、今後どうなるかは、試験運行の結果によります。有償運行にする場合、運輸局の許可に約3カ月を要しますので、12月議会の前には大体決定しないかと、4月1日からの運行には間に合わない状況ですので、12月議会までが一つの山と考えています。

金山町観光施設運営整備研究 特別委員会の中間報告

「平成29年度一般会計当初予算（凍結5事業）」について、定例会以降対案等も提案し3回の審議及び現地確認の実施、検討を重ね進めてきた内容についてご報告いたします。

- I 川口駅前線改良事業について**……………凍結を解除する
 - 用地取得（土地交換）の件、公衆便所の位置、車の導線等について、概ね了解できたので、速やかに事業を進められたい。また、「藤棚」については敷地内に残すよう検討いただきたい。
- II 空家関係事業について**
 - ① 空家除却事業について**……………凍結を解除する
 - 周囲への影響、土地・家屋の権利関係（所有者からの無償提供）、除却後の利用方法（公共利用・地域での管理）等確認できたので、速やかに事業を進められたい。
 - ② 準町営住宅整備事業について**……………凍結を解除する
 - 需要とニーズを把握すると共に、物件の選択にあたっては不公平感の無いよう、そして改築方法をよく検討しながら、速やかに事業を進められたい。
 - ③ 高齢者共同住宅整備事業について**……………凍結を解除する
 - 建物及び土地について状況確認できたので、速やかに事業を進められたい。なお、利用方法については、課題があるのでよく検討すること。

議案等審議結果一覧

※議長は、採決に加わりません（賛否が同数の場合には議長が採決します）
 ※賛成「○」 反対「×」

件名	議決結果	栗城康太郎	青柳ヨシ子	加藤賢享	黒川廣志	奥高伸	横田正敏	高橋信彦	五ノ井義一	馬場清次
■ 第2回臨時会 平成29年5月26日開催										
専決処分に関する承認について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町町営バス条例の施行の特例に関する条例の制定について（6月1日から平成30年3月31日まで町営バスを無料で運行する条例）	可決	○	×	○	×	○	○	○	○	○
契約締結に関する議決について（大塩グラウンドの整備を山十建設が実施）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■ 第3回定例会（6月定例会）平成29年6月開催										
金山町国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
平成29年度金山町一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
平成29年度金山町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
平成29年度金山町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
平成29年度金山町町営バス事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
平成29年度金山町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
平成29年度金山町特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
平成29年度金山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
平成29年度金山町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
人権擁護委員の候補者の推薦について	可決	無記名投票（一人ずつ）により採決、それぞれ（賛成8票・反対0票）								
金山町農業委員の選任に関する同意について	可決	無記名投票（一括）により採決（賛成8票・反対0票）								
■ 請願（6月定例会で採択されました）										
国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
■ 議員提出議案（6月定例会で可決され関係機関に送付しました）										
国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
■ 報告（6月定例会で報告されました）										
平成28年度金山町繰越明許費繰越計算書の報告について										
会津若松地方土地開発公社経営状況報告について										
株式会社奥会津金山大自然経営状況報告について										



黒川廣志議員の

一般質問

『町内周遊バス運行について』

まずは、無料で乗ってもらおうことから始める

問 六月一日から試験運行中だが。

答 運行に係る諸経費が3400万円だ、従来の町営バス運行と比較して大幅増額だ、なぜ無料か。

問 町長 無料として住民の方に多く利用してもらい、「どのくらいバスを利用したいか」の潜在的需要を探ることにあります。新料金をいただくには運

輸局の許可を得る必要があり、追加する路線だけを無料にすると混乱が生じるおそれがあるため、まずは無料で乗ってもらい、そこから議論を始めようとするものです。

問 ② 「財源に限りがあるので自主財源の軽減に努める」と説明しているが、具体策は。

答 町長 無償運行では

県や国からの補助金はありませんが、地域公共交通の活性化・再生に関する国の補助も存在します。また、福祉関係や地域活性化の補助に該当しないかなど自主財源の軽減を現在検討しています。

問 ③ 無料運行で乗合タクシー等の業者との間で不当競争を引き起こさないか。

答 町長 会津バスは、競合しないように運行ダイヤを編成しました。町内のタクシー業者は、ある程度乗車人数が減ると考えています。乗り合いタクシーは、委託料の減額はありませんが、通常のタクシー業務も、町の交通体系の見直しにより町が活性化することなので納得いただいています。JR代行バスに

ついては、運行が重ならないように時間を調整しましたが、調整には限界がありました。代行バスは列車の代わりであり、競合を考

える対象ではありませんが、JR只見線再開通時には代行バスが廃止されるため、今後の検討材料だと考えています。

を計画。ダム直下流のさらなる安全対策は、上田ダム直下流の右岸護岸ののり面保護対策工は完了し、本名ダム下流減勢工は工事完了が平成30年7月末と連絡を受けています。次に、電源開発㈱の取り組み。洪水低減対策は、滝ダムの出水時、洪水が予想される場合の安全度向上対策とし

『只見川河川整備事業と電力事業者の安全対策の進捗状況について』

それぞれ、進んでいる

問 ① ダム災害から六年、梅雨に入り被災者は一日も早く安全で安心して暮らしたいと願っているが整備事業の植音も聞こえない。進捗状況は。

答 町長 今年度、会津若松建設事務所管内で初めて町内土倉地区が工事着工地区となります。7月6日の起工式終了後、本格的

な工事の着工となることと思えます。

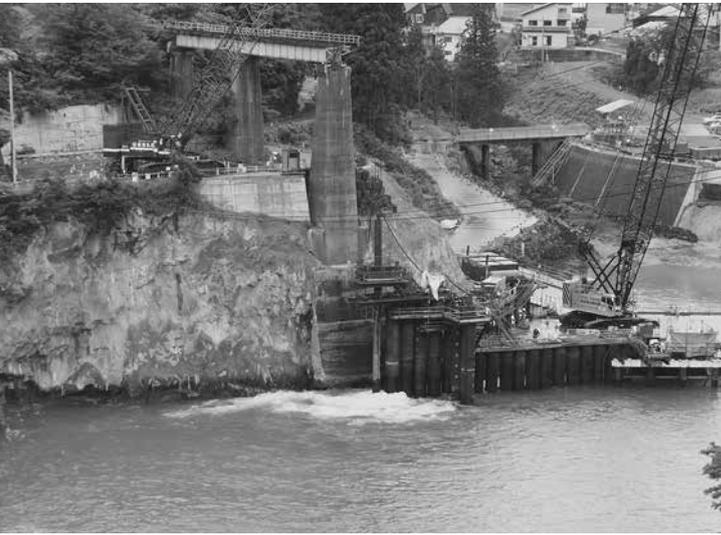
問 ② 二年前に示された東北電力㈱、電源開発㈱の「安全確保に向けた取組み」の進捗状況は。

答 町長 東北電力㈱の取り組み。堆砂対策は、今年度上田調整池で約3万m³、本名調整池で約4万m³、合計約7万m³の堆砂処理

を計画。ダム直下流のさらなる安全対策は、上田ダム直下流の右岸護岸ののり面保護対策工は完了し、本名ダム下流減勢工は工事完了が平成30年7月末と連絡を受けています。次に、電源開発㈱の取り組み。洪水低減対策は、滝ダムの出水時、洪水が予想される場合の安全度向上対策とし

て、従来の常時満水位からの空き容量をさらに確保するため、低い水位に下げの取り組み(平成28年度で12回実施)を行っています。計画的な堆砂対策は、今年度滝調整池で約8万m³、平成30年度からは約10万m³の堆砂処理を計画しています。

本名ダム下流の「減勢工工事」
岩盤が硬く「くい打ち」が難航している





『地域魅力向上応援補助事業について』

事業の見直し時には検討したい

問 補助金額の上限は30万円と低く、しかも20%の自己負担となっている。例えば、38万円の事業を行う場合、自己負担金額は約8万円近くにも及ぶことになり、三更のような小部落の場合、負担金は大変大きなものとなってくる。事業を実施するに当たって、労力の過大な負担に加えて、過大な金額の自己負担が必要とあつては、集落の



看板等を整備する予定の三更地区(霧幻峡船着場)

『魅力ある若者住宅の建設を』

空家を活用して整備する

魅力向上応援という趣旨にしては、小規模小部落の配慮に欠けた補助事業となっていると思うが。ちなみに、三島町の地区支援事業補助金は、「補助対象経費の10分の10」で、補助金額の上限は50万だ。

で実施することは、結果として地区や団体等の熱意をそぐことにもつながりかねないことから、補助率は5分の4と高めに設定しつつ、一定の自己負担を求めています。今後事業の見直しを行う際は、国・県等の類似補助事業とのすみ分け、適正な補助率の設定や補助対象内容など検

討し、町補助金制度審議会などのご意見を踏まえ、より良い事業にしたい。

問 補助率80%であれば、約40万かかれば8万円、部落で出すようになる。これはかわいそうだと。これを何とか町で助けてやれないのか。

です。三島町のことですが、補助対象外の経費が結構あると思います。三島町と実質的にはそんなに変わりないと思います。小部落だから、面倒見なきゃいけない。金山町30行政区ある中で、この集落には10分の10でやる、ここは5分の4でやるうとかと、そういうやり方はできません。

問 若者の定住を促進するためには、働く場所の確保と住宅整備が必要です。特に住宅整備については、若者の定住住宅という位置づけであるので、若者が住みたくなるような住宅、ここに住んでみたくなる町営住宅の建設が必要であると考えている。

横田地区に単身・世帯用合わせて34戸の新築住宅を整備しました。今年度は、初めての試みとして、町の課題でもある空き家の有効活用を図ることを考慮し、利用可能な空き家に移住体験住宅や町営住宅として整備する計画です。

問 アパート形式の住宅ではなく、一軒屋を建ててやっ、金山町に永住して

もらうような条件をつけて、土地つきで提供する。それが泉崎村で、もうやっているんです。これは10年前から、私は言っているんです。なかなか今までの町長は動こうとしなかった。

答 町長 今、金山町の喫緊の課題は、空き家対策をどうするかです。それと並行して新しい新築住宅を建てるといことは、厳しい状況です。最近の若者のニーズは今までと変わってきました。「自分で思うような造作をしたい」という人たちが非常に多くなっています。そうすることによって愛着も感じてくると思います。それが定住につながるかと考えていますので、若者定住住宅も空き家対策事業として考えていきます。



「横田の大堰」生活用水、かんがい用水確保に欠かせない



横田正敏議員の

一般質問

『横田地区大堰改修について』

関係機関と協議しながら進めたい

問 地区からの要望である大規模改修について、町としてどのような支援を考えているのか。

答 町長 数年前より横田区からの要望があり、町の一般財源でU型側溝の布設替え、漏水の原因となる目地処理等を行い、生活用水、かんがい用水の確保に努めてきました。横田大堰のような改修要望は、毎

年各地区から数多く要望されます。町では地区の要望に沿えるよう町単農業用施設改良費を多く確保しながら事業執行に努めています。

問 国、県の補助事業を充

て、短期間で完成させた方が経費の節減になり、行政区の切実な要望に対して、寄り添った事業は遂行できるとは思いませんか。

答 町長 議員のおっしゃるとおりですが、事業を

実施するための採択要件が厳しく、小規模な要望は町単独費での実施のほうが多く要望に沿えるものと考え実施しています。ただし、大規模な事業については、地区要望が複数件あ

り町単独費での実施は困難となりますので、関係機関と協議しながら国の補助事業で実施・採択を受けることができず、進めていきたいと考えています。

『「せせらぎ荘」指定管理事業について』

利用者に喜ばれる施設となるよう努める

問 指定管理事業について、事業計画書のとおり実施されているか。

答 町長 指定期間の1年目は助走期と位置づけ、町内外へ周知を行い、多くの利用者に足を運んでいただくための働きかけに力を入れる計画となっています。せせらぎ荘のオープニングイベントを始めとする各種イベントの開催や町内団体、友好都市でのPR活動、ホームページの開設やSNSを活用したPRについては計画ど

おり行われましたが、イベント等の中には十分な実績が得られていないものもあります。実績が上がらなかつたものについては、指定管理者と絶えず打ち合わせを行い、改善等を図りながら実施するよう求めています。このような取り組みを粘り強く続け、せせらぎ荘が真に利用者に喜ばれる施設となるよう努めていきます。

問 「地産地消の健康料理食堂」が実施されているのではないかと。

答 産業課長 運営当初については赤かぼちやも利用しました。マコモダケも使いました。ヒメマス定食などもやってきた経過がありますが、その期間が非常に短かったということがあります。一時期、多くのレトルトだけになった時期がありました。その点を踏まえ、管理運営しているグッドスタッフに改善するよう話をしたところ、5月の初めから、もとに戻していただいたようなところもあります。

今の時期ですと山菜が豊富に出ていますので、そういったものも、出すようにしなければいけないと強く申し上げたところであり、定期的打ち合わせを持ちながら、町民あるいは利用者の声に耳を傾けながら、その点についてはしっかりと指導していきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

栗城康太郎議員の 一般質問



『交流人口拡大の受け皿づくりについて』

引き続き検討していく

問 人口減少・少子高齢化が進行するなか、地域の活力を維持し発展させるために交流人口を拡大させ、町内での旅行消費を増大させる必要があります。また、只見線の復旧に向けて、旅行者の受け入れ環境づくりも急がなければなりません。

答 町長 空き家や十分な活用をしていない住宅を宿泊施設に活用する対策を、国の動きを注視しながら、町として研究していきたいと考えています。

問① 宿泊施設不足対策は。

答 町長 「無料公衆無線LAN環境」は、道の駅にあるトイレ休憩所に整備

されていますが、町内に点在している他の観光施設では整備されていません。今後の対応を検討します。「多言語表示による観光案内板等の整備」は、川口駅前、水沼及び大塩の観光案内板の一部は日本語表示と併せて英語表示を行っています。町内の観光パンフレットは、一部のパンフレットはスマートフォンを活用することで英語が表示されるなど一定の対応をしています。さらに、外国人観光客と接触する町民が円滑に意思疎通ができるよう奥会津振興センターが作成した5カ国語対応の指さし確認表を、町内の官公署や金融機関、商店、旅館などに配布して

『「村の肖像」プロジェクトについて』 活用方法のアイディアを出して欲しい



「様々な方と交流したい」と始めた農家民宿「けやきの家」
栗城英雄ご夫妻(山入藤倉)

問 金山町の各地には厳しい豪雪地帯の自然の中に暮らす人々の姿や只見川のダム建設をはじめとした地域の変化などを写した写真や映像が数多く残されていることがわかってきました。これらの映像遺産は、収集・整理するだけでなく、町内外に広く公開してこそ価値が出るものです。以上を踏まえ、

問① 『村の肖像』プロジェクトの全体計画は。

答 町長 今年度から来年度にかけて各地区の貴重な写真を収集し、デジタル化を図りながら、それぞれの写真にまつわることについて聞き取りを実施し整理をし、来年度1冊の冊子を作成していく計画です。

問② 『村の肖像』プロジェクトの成果品の利用方法は。

答 町長 一つは教育現場での活用が考えられます。収集した写真、作成した冊子等をもとに、金山町の歴史を学ぶ学校の授業に利用したり、町の昔の地形、生活や産業を顧みることにより、町の歴史を未来に継承していききたいと考えています。



青柳ヨシ子議員の 一般質問

『大塩グランド整備事業について』

グランドゴルフ会津大会等を誘致

問 どの様に運営されるのか。利用対象者は、料金は徴収するのか。宿泊施設はどうするのか。

答 教育長 今年度完成する予定です。来年度、グランドゴルフ認定コースの承認を得て、正式に供用開始します。運営は町が行う予定です。使用料は、徴収する計画です。使用料の金額は、他のグランドゴルフコースの状況を調

べながら決定します。現在のところ、宿泊を伴う大会の開催は考えていません。

問 私もグランドゴルフをしているので、ありがたいと思っているのですが、整備にかかる金額たるや5700万円という大

金です。どれだけの人が利用して、運営はどうなっているのか、そこいら辺詳しくお願ひいたします。

会津大会とか、ほかの大会をこちらに誘致しながら、このグランドを使用していく考えています。

答 教育次長 現在、町のグランドゴルフ部があります。福島県グランドゴルフ協会と相談して、

問 施設整備とか維持管理とかは、どんなふうにされるのでしょうか。

答 教育次長 町が運営

します。維持管理は、今後委託なりを考えていきますが、芝の管理とかについてはなかなか厳しい面がありますので、肥料とかそういう部分も予算をとりながら、管理をしていきたいと考えています。

『障がい者の福祉対策について』

的確な情報の把握と迅速な支援に努める

問 取り組み状況について教えてください。

答 町長 金山町障がい者福祉計画(平成27年度から29年度)に基づいて進めています。身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者についての現状と町の取り組みを示したものです。「障がい者が自立して生活していけるまちづくり」を目指して、保健、医療、教育、雇用などの分野における取り組みが挙げられています。特

に高齢化率が高い金山町の特徴を踏まえて、高齢者向けの、後天的な身体障がいに対する予防策に力を入れていることの重要性が強調されています。障がい者福祉の取り組みを進めるに当たっては、法律で定められたサービスを提供

するのはもちろんですが、住民に身近な行政機関として、的確な情報の把握と迅速な支援に努めています。

その家庭に赴いて様々な話を聞くというところを行っています。また、町では自宅から外に出て、湖水まつりで使う灯笼を皆さ

らで一緒につくったり、芋煮会等のサークル活動の場を設けています。

答 住民課長 相談支援事業という取り組みを行っています。会津美里町の事業所に委託をして、そこから相談支援専門員という方が個別に実態の把握

のために金山町を訪れて

に来ています。皆さんの様子を把握しています。その他にも、ボランティアの方々の協力を得ながら、取り組んでいる事業もあります。

湖水まつりの灯笼づくりにも障がい者の方が協力しています



通行しやすいとは、言いがたい
「県道布沢横田線（松坂峠）」

奥高伸議員の 一般質問



『森林整備で町の振興を』

小規模のことしかできないのが実態

問 我が町では総面積の約92%を森林が占めており、その豊かな自然環境は今まで住民生活に大きな貢献をもたらしてきました。しかし、林業は衰退の一途をたどってきました。しかし、近年、森林の持つ役割は木材の新たな利活用のみならず、二酸化炭素を吸収し地球の温暖化の抑制や洪水や濁水を防ぎ豊かな自然

を維持するなど、その重要性が再認識されています。国でも「森林・林業基本計画」において直交集成板（CLT材）の普及や木質バイオマス利用の拡大により森林資源の利用による林業、木材産業の成長産業化などで地方創生を図る方向を示しております。森林、木材は我が町において最も豊かで有望な産業資源と言っても過言ではない。森林整備、林業

振興について改めて町の考えを伺う。

答 町長 会津方面13市町村と民間組織「会津T he 13『事業協議会』」が連携し、「会津地域森林資源活用事業推進協議会」が5月17日に発足し、森林資源調査、木材コンビナートの調査・検討、熱需要者の調査等が行われることなど、森林資源の活用に対する期待が高まっています。町でも構成団体としてこれ

らの調査に積極的にかかわり合いながら、この機を逃さず取り組んでいきたいと考えています。

問 方向性は出ているのかなと思いますが、問題はそれがどう進むのかと。私はこの林業振興の問題8年ぐらい質問していますが、全然進んでいないというのが現実だと思えます。その間にどんどん高齢化が進み、また高齢化以上に森林が荒廃してくるとい

うのが現実だと思えます。

答 町長 役場の職員も含めてですが素人集団、これを何とかして、「三人は林業に特化した人が出てくれないと、なかなか役場主体で物事を進めるといいます。私も折に触れてそういうところに行つて話を聞いてはいますけれども、本当に小規模なことが実態です。

『県道布沢横田線改良促進要望を』

一層の要望活動を進める

問 平成23年7月の豪雨災害の発生時、国道252号が寸断されたときには、地域から町外への唯一の通行可能な道路となるなど、県道布沢横田線は住民生活、緊急車両等のただ一つの生命線であり、国道252号の迂回路としてな

くてはならない道路であります。町としても、県道布沢横田線の整備促進は地域のライフラインの確保、観光、経済、文化の振興においても、最も重要な施策の一つになると考えますが、町の考えを伺う。

答 町長 町でも生活幹線道路として重要であるとの認識のもと、未改良区間の早期整備について毎年、金山町、只見町、昭和村からなる只見・金山・昭和県道改修促進期成同盟会を通し、福島県に強く要望しています。その活動

柵の設置、狭隘区間の信号機による相互交通などが施工され、以前よりは通行しやすい道路として整備が図られています。しかしながら、まだまだ十分な改良が図られたとは思えませんので、今後も一層要望活動を進めていきます。



「只見線復旧

「地域が元気だ」と言える町づくりを！」

6年前の豪雨災害で会津川口から只見間が不通となり、県と全会津17市町村が鉄道での復旧を求めていた只見線について、ご存じのように県とJR東日本は6月19日、上下分離方式による復旧に関する基本合意書を締結し、2021年度中の運行再開を目指すことになりました。

上下分離方式による復旧については、いろいろなご意見があることは当然だと思いますが、今後はより多くの人々に利用していただき、地域の活性化につながるよう課題の解決に努力しなければなりませんと思っています。

その課題の一つが観光による交流人口の増加を図ることではないかと思えます。これからの観光は単に物見遊山ではなく、少人数で古民家に滞在し、そこで生活している人々と交流しながら暮らしや文化に触れ、山里でなければ得られない豊かさを体験するような観光が求められているとも言われています。空家の利活用、商品の開発、観光地の整備、交通網の整備、サービスの充実など、魅力的な受け皿づくりを進めることにより、観光事業が町の産業振興・経済発展につながるように努力することが大切ではないでしょうか。それこそが「地域が元気だ」と言える町づくりにつながるのではないかと思います。

私たちが住む金山町は、極端な少子・高齢化が進み、今まで経験したことがないような事態が予想されます。只見線の復旧とその利活用によって少しでも町が元気になることを願っております。

復旧はゴールではなくスタートだと思えます。沿線7市町村が力を合わせ、四季折々の変化に富んだ自然が織りなす絶景の中を走る只見線が、地域の活性化の礎となり、日本一のローカル線となるよう、皆さんと共に課題の解決に取り組んでいきたいと思っています。

(栗城康太郎)

国道252号、JR只見線の懸案を 両沼地方町村議員大会で確認

7月14日柳津町において、第31回両沼地方町村議会議員大会が県知事（会津地方振興局長代理）を始め国会議員等の来賓出席の下行われました。大会では、金山町議会を代表して、高橋信彦議員が、「一般国道252号の整備促進」と「JR只見線の早期全線復旧と財政支援」を提案し可決されました。今後は、両沼地方町村議会として、関係機関への要望活動が行なわれます。



議員大会で発表する高橋議員

ごあんない

次回の定例会は、9月8日ごろ開会の予定です。
一般質問は9月11日ごろとなります。
お気軽に傍聴においで下さい。
○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り
4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕 議長 五ノ井清二
〔編集委員〕 委員長 馬場 清次
副委員長 黒川 廣志
委員 栗城康太郎
〃 青柳ヨシ子
〃 加藤 賢享
次回、金山議会日より
第199号は、11月上旬
ごろ発行の予定です。